

科目名		作業環境管理学論文指導	
科目責任者	宮内 博幸	(作業環境計測制御学 教授)	
担当者	石松 維世	(作業環境計測制御学 教授)	
担当者	石田尾 徹	(作業環境計測制御学 講師)	
開講時期:	2年次	単位数:	6 単位
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>将来、ハイジニストを目指す学生が、作業環境管理・作業管理活動 に貢献する質の高い論文を作成することを目的とする。関連する先行研究のレビューを行い、具体的に修士論文の計画を仕上げる。さらに、研究計画に基づきデータの収集、解析、得られた結果の考察を行い、修士論文を作成する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 修士論文中間発表に向けて研究成果をまとめる。</li> <li>2) 関連する論文の精読、プレゼンテーションおよびディスカッションを行う。</li> <li>3) 研究倫理について学ぶ。</li> <li>4) 研究テーマを見いだす。</li> <li>5) 研究計画を作成する。</li> <li>6) 研究計画を確認する。</li> <li>7) 研究の進捗状況を発表する。</li> <li>8) 修士論文中間発表に向けて研究成果をまとめる。</li> <li>9) 修士論文執筆内容を確認する。</li> <li>10) 修士論文を仕上げる。</li> </ol>			
● 評価方法	討議への参加度20%、プレゼンテーション内容30%、課題レポート等50%で総合評価する。		
● 参考文献	指導の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業内容

内容	担当教員
選定したテーマについて測定や実験を行い、得られた結果についての解析方法、解釈の仕方、論文構成、倫理、投稿等についての実践的な論文指導を行う。	宮内
分析手法研究を中心に、新たなる物質の気中濃度把握に関する論文指導を行う。	石松
生物学的曝露モニタリングについての測定・分析手法研究を中心に、生体反応、生体影響のモニタリングによる総合的な労働衛生管理に関する論文指導を行う。	宮内
作業環境管理の工学的対策の側面から、設備や評価方法の研究に関する論文指導を行う。	石田尾